

第三の居場所「全体支援チーム」会議

「にっこりひろば」について

1. 基本情報

所在地：長野市三本柳西2丁目7-4

運営団体：さんぼんやなぎプロジェクト

(4月よりNPO法人にっこりひろば)

代表者：岡宮真理



2. 地域の主な資源

【現在協力を得ている団体（つながりのある団体）】

1	JA グリーン長野（場所の提供）	2	川中島地区住民自治協議会
3	更北地区住民自治協議会	4	長野県社協
5	長野市社協	6	川中島地区社協
7	更北地区社協	8	長野市立三本柳小学校（PTA 含む）
9	長野市こども未来部	10	長野市地域活動支援課
11	長野市教育委員会学校教育課（犀南ブロック）	12	北信教育事務所
13	長野市南部図書館	14	長野県長寿社会開発センター
15	長野市農業研修センター	16	NPO ホットライン信州
17	長野の子ども白書編集委員会	18	一般社団法人世界マザーサロン
19	NPO 法人 IT サポート銀のかささぎ	20	NPO 法人 COCONET 長野支部
21	公益社団法人スコーレ家庭教育振興協会	22	NPO 法人みどりの市民
23	長野市子どもにやさしいまちフォーラム	24	長野保健医療大学
25	社会福祉法人花工房福祉会（エコーンファミリー）	26	NPO 法人プロ家庭教師のネットワークアイウィル
27	篠ノ井高校	28	清泉女学院短期大学
29	地域の皆様	30	更北地区民生児童委員協議会

【今後協力を得たい団体】

協力を得たい内容はボランティア参加や講座講習会への協力、資金・物資の援助、情報の共有など

1	川中島小学校	2	青木島小学校
3	下氷鉦小学校	4	共和小学校
5	川中島中学校	6	更北中学校
7	南長野幼稚園	8	川中島保育園
9	丹波島保育園	10	信州大学
11	川中島商工会議所	12	更北商工会議所
13	地元企業など（綿半、D2、シューマート、西友、クスリのアオキ）		
14	川中島駅前商店街		
15	川中島地区民生児童委員協議会		

3. 事業体系

1) 日中の居場所の運営

2) 放課後の居場所の運営（食事支援・学習支援含む）

3) 講座研修会などの運営

4) 物販事業（リサイクル品、手作り品の販売など）、場所貸し事業

5) 食事支援事業（2020年4月より開始予定）

6) この第三の居場所事業ではないが、長野市のまちづくり活動の補助金を受けて折り紙教室と子育て世代へ向けた講座をそれぞれ月1回ずつ行なってきた。これは第三の居場所事業へと引き継いで行く。(参加者も定着しており、無くして欲しくないという要望あり。まちづくりとしての来年度の申請はしない)

4. 現状

1) 日中の居場所＝第1火曜、毎週水・金 10:00～12:00

第1火曜日は「長野市こどもにやさしいまちフォーラム」による不登校支援。
毎回小学生数名、中学生1名、その保護者などの利用がある。昼食付き、無料

第2水曜日は「ひだまりカフェ」とし、地域の方むけのお茶のみサロンを開いている。
未就学児から高齢者まで折り紙をしたり、お茶を飲んだりして過ごしている。
毎回10～15名ほどの利用あり、地域の日中の居場所として定着。ひとり100円

毎週水曜日と金曜日の午前中は施設を開放し、市民文庫の貸し出しなどを行なっている。
ミシンをつかって幼稚園保育園の袋物を(有料300円から800円)作っている。
最近はずかではあるが赤ちゃん連れのお母さん方が訪れるようになってきた。
読み聞かせ、手話、手芸など、利用者がやりたいことをやれる場に。

月1回の日曜日のこども食堂は3月をもって終了(毎回30名ほどの利用)
→平日の放課後へとシフトする

来年度より、毎週火・水・金 10:00～12:00 オープン

2) 放課後の居場所＝毎週月・水・木、第2金曜日 15:00～17:00

現在は月・木を学習支援、毎月第1・3水曜日をiPad学習支援、第2・4水曜日を自由な時間としている。iPad以外の日はおやつをだしている(軽食)
各日平均20名ほどの児童が利用

来年度より、毎週火・水・木・金 15:00～17:00 オープン
体制を整えば毎週金曜日に17:00～20:00の中高生も利用できるようにする

3) 講座研修会＝毎月第3月 10:00～11:30

保護者のモヤモヤを吐き出せる場所として茶話会を行なっている。
ファシリテーターには各分野に長けている方をお願いし、ただのおしゃべりではない場の提供となっている。あえて定員を6名としている。ひとり200円

来年度より、毎月第3・第4月曜日を子育て支援の時間としてオープン。
第4月はひとり500円で子育てに役立つ講座をおこなう。
できたら毎週開きたい←行政など専門機関から保健師やスクールカウンセラー、ソーシャルワーカーのような方に来ていただけるのが理想(月1回でも)

4) 物販事業、場所貸し事業

オープンしている時に、手作り品の小物を販売している。バザーなどはわずかでも収入になるので助かる。オープン以外の時間は他団体へ場所を貸し出している(3時間600円)

5) 食事支援事業

これがにっこりひろばのメイン収入となる予定。現在準備中。惣菜カフェのような形で運営していく予定。弁当予約の営業も必須。メインとなる収入になるはずだが、人件費の面では課題が残る。



5. 課題

- 課題としては、まずなによりも広報の強化。
先日の川中島地区の区長会にて、回覧を全地区で配布いただけるようになった。
まずは「にっこりひろば」が何かを知っていただきたい。
- 放課後の居場所のサポーター（特に遅い時間）を増やすため、現在スタッフが信州大学を訪ねている。以前は個人的なつながりで信大生が来てくれていたが卒業して離れてしまった。
スタッフの人数が安定して確保ができるとよい。子どもは高校生や大学生が来てくれると特に喜ぶ。行政から何らかの人材派遣などがあるととても助かる。
- 放課後は子どもたちの居場所として定着。毎日のように来ていた子が、学年が上がるとばたっと来ないパターンがあるが、ふらっと思い出したように来てくれることも。
下校中トイレを貸して欲しいと来る子もいたり、困った時に思い出してくれるところでありたい。
- こちらも余裕を持って子どもたちの話に耳を傾けるためには、やはりスタッフの確保が必須である。
- 第三の居場所事業としてどのように動いていけるかは、行政との連携なくしては成り立たないので、このあたりをどう進めて行くのかを話し合えたらありがたい。

6. 利用者状況

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	開館日数	13	12	6	12	8	16	17	12	15	6
	1日平均利用数	23.6人	21.3人	19.7人	23.3人	14.4人	19	16.2	14.5	17	7.5人
参加者 (人)	未就学児	6	2	3	7	1	11	11	9	16	0
	小学生	211	175	83	192	67	182	160	85	151	22
	中学生	1	1	1	1	1	1	0	0	1	4
	高校生	0	0	0	0	0		0	0	0	0
	専門学校・大学生	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
	大人	23	5	6	13	18	30	32	26	33	0
ボランティア (人)	小学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	専門学校・大学生	10	16	0	14	1	0	0	0	0	2
	大人	45	45	22	43	23	46	49	32	35	2
その他 (人)	外部講師	0	0	0	0	0	5	2	2	2	0
	その他	11	10	3	10	4	30	22	21	24	15
計		308	255	118	280	115	306	276	175	262	45

「まちの縁側なから」について

1. 基本情報

所在地：北佐久郡御代田町御代田 2670-74
 設置団体：非営利活動法人まちの縁側なから
 代表者：斎藤 百合子



2. 地域の主な資源

・現在協力を得ている団体

1	長野県みらい基金	2	長野県県民文化課次世代サポート課
3	佐久地域振興局	4	佐久保健福祉事務所
5	東信教育事務所	6	御代田町保健福祉課
7	御代田町教育委員会	8	御代田町社会福祉協議会
9	御代田町児童民生委員協議会	10	御代田町平和台区
11	佐久地域子ども応援プラットフォーム	12	軽井沢フードバンク
13	NPO法人 キッズドリーム	14	御代田町まちづくり協議会
15	子育て元気クラブ	16	Canvas Cookies
17	佐久南ヘルシーテラス	18	佐久助産師会
19	御代田南小学校	20	もぐりん
21	御代田中学校	22	御代田北小学校
23	保健師会 ひだまりっこ保健室	24	ホットライン信州
25	ハーモニカ かつくん	26	ヨガ療法士
27	個人会員 () 名)	28	

・今後協力を得たい団体

	団 体 名	協力を得たい内容
1	地域企業（未定）	資金援助

3. 事業体系

- (1) こども食堂の運営
- (2) 居場所の提供（ヨガ）（洋裁・編物教室）（地域の伝統食を楽しむ会）
- (3) 学習支援（ソーシャルワーク含）
- (4) 講演会・勉強会（性教育）（里親普及活動）（手話教室）

4. 現状

(1) こども食堂の状況

【開催日】食事提供一般編 毎週月曜日・水曜日 18:30～19:30
 特別編 毎週火曜日・木曜日・金曜日 〃
 一緒に調理編 第1・3・5土曜日 17:00～20:00
 〃 里親偏 第2土曜日 〃

【費用】大学生以下：無料 大人：300円（寄付）

【調達先】野菜・米は主に頂き物

【利用状況】 幼児～高齢者 1人～47人 昨年末まではスタッフ入れて 20人以下が多かったが
年明けから 20人を超える日が多い

【懸案事項】 参加人数の増加は、家事の楽しさを知ってもらうという目的の遂行を難しく
している

(3)居場所の現状

【開催日】 あみっこと 毎週月曜日 10:00～12:00

第2・4・5土曜日 9:30～11:30

2月より毛糸編み講師の体調不良により休止中

ぬいっこと 第1・3土曜日 9:30～11:30

縁側開放 毎週土曜日 10:00～12:00 お喋り・EM菌を作りました

ヨガ教室 月2回 10:30～12:00

手話教室 第3火曜日 10:00～11:30

ふれジョブ定例会 第4月曜日 19:30～21:00

こどものソーシャルワーク勉強会 3ヶ月毎に第3月曜日 19:30～21:00

地域の伝統食を楽しむ会 年に5回～10回 会場 ハートピア

餅つき大会は「なから」

【参加者】 いずれも 1人～10人ほど

(4)学習支援

【開催日】 こども食堂のある日 調理と学習を自由選択

【利用者】 1人～7人 (主に小学生)

【支援者】 スタッフ・土曜日は高校生ボランティア

(5)その他の活動

日時	開催内容	参加者
5月26日	伝統食を楽しむ会 春の野草を楽しむ	11人
6月22日	一品持ち寄りふれジョブ定例会	7人
6月24日	自主映画会 「美しき緑の星」	7人
7月7日	あみっこと・ぬいっこと 上田高校松尾祭参加	
7月15日	掃除・賄い担当者会議	12人
7月21日	地域の伝統食を楽しむ会 ユウスゲの天ぷら	11人
8月6日	地域支援会議町役場	
8月8日	4団体研修会 松本合同庁舎	
10月1日	研修会 さんぼんやなぎ見学 長野市	2人
10月7日	「なから」お披露目会 平和台公民館・なから	
10月27日	伝統食を楽しむ会 キノコアドバイザーに聞く	5人
11月24日	伝統食を楽しむ会 そば打ち	12人
12月14日	伝統食を楽しむ会 餅つき大会	23人
1月16日	勉強会 青砥 恭先生 平和台公民館・なから	
1月29日	研修会 戸田拠点	1人
1月31日	地域支援会議 エコール	



5. 課題

(1) こども食堂に参加のこどもの人数制限

- ・お知らせでは参加人数 15 人としているが、断らない姿勢を貫いたため、少しずつ
- ・参加人数が増え、目的の一つである「家事の力を付ける」ことが難しくなっている。
- ・4 月からは曜日ごとに参加メンバーを固定し、力が着いたら交代

(2) みんなで畑作 昨年は時間が取れず催しが出来なかった。

- ・今年再開したいがボランティアの人数が十分でないため、まだ予定が立てられない。

6. 利用者状況

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	開館日数	7	9	15	11	10	11	12	9	12	13
	1日平均利用数	15.1 人	18.6 人	14.7 人	18.6 人	18.4 人	22.5 人	19.5 人	18.3 人	22.9 人	18.0 人
参加者 (人)	未就学児	6	7	27	23	17	25	26	19	29	23
	小学生	28	59	52	74	70	96	79	54	80	77
	中学生	13	14	14	11	9	14	9	12	28	23
	高校生	5	2	2	11	1	10	9	7	28	0
	専門学校・大学生	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0
	大人	23	38	50	32	35	51	55	27	57	31
ボラン テイア (人)	小学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校生	3	1	2	0	0	0	0	0	0	3
	専門学校・大学生	4	1	2	0	0	0	0	0	0	0
	大人	24	43	70	53	52	52	56	46	52	65
その他 (人)	外部講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		106	167	220	205	184	248	234	165	274	232

「みんなの居場所 ゆめひろ」について

1. 基本情報

所在地：諏訪市末広 1-11
設置団体：末広プロジェクト
代表者：石城正志

2. 地域の主な資源

・現在協力を得ている団体

1	テンハウフーズ（場所の提供）
2	諏訪市民生児童委員協議会
3	諏訪市社会福祉協議会
4	諏訪市福祉事務所
5	すわ☆あゆみステーション
6	まいさぼ諏訪市
7	南信教育事務所
8	諏訪保健福祉事務所



・今後協力を得たい団体

	団 体 名	協力を得たい内容
1	末広1丁目、2丁目自治会	施設の利用・ボランティア参加
2	末広地区隣接自治会	施設の利用・ボランティア参加
3	末広地区商店	施設の利用・イベント等への協力
4	シニア大学諏訪校（長寿社会開発センター）	施設の利用・ボランティア参加
5	地元幼保・小・中・高校	施設の利用・ボランティア参加
6	NPO法人ちゃいんどふっど	イベント等への協力
7	NPO法人すわ子ども文化ステーション	イベント等への協力
8	地元商工会議所や個別企業（テンハウフーズ、スワテックなど）	資金・物資援助
9	フードバンク信州、ホットライン信州など	食材・物資提供

3. 事業体系

- (1) キッチンの運営
- (2) こども食堂の運営
- (3) 居場所の提供
- (4) 学習サポート
- (5) イベントの実施

4. 現状

(1) キッチンの状況（9月23日～現在まで）【収益事業】

【当初】

- 10:00～20:00（日、月曜日除く）喫茶の提供
- 12:00～15:00 ランチの提供 ⇒利用伸びない（ともに平均5食以下）
- ・アイスクリーム（スジャータのシルクアイス）器機の無料提供を受け、利用者拡大を図る。
- ・主な利用者 火・金曜日午前に利用するシニアの皆さん

【懸案事項】

- ・当初、運営は店長ひとりのみ⇒12月で退職 1月～飲食の提供を中断
⇒体制が整うまで、無料のお茶等の提供を実施

(2) こども食堂の状況

【開催日】 毎週水曜日 17:30～19:00

【費用】 高校生以下：無料、大人：550円

【調達先】 頂いた食材が基本。ほか、材料費をなるべくかけないように調達

【利用状況】 20名程度（小学生～大学生、大人）学習支援の利用者が中心

【懸案事項】

- ・当初、店長が調理し、理事やボランティアがサポート
⇒店長の退職により理事、ボランティアで運営（大人料金550円⇒「お気持ち」へ変更）

(3) 居場所の状況

【開催日】 10:00～20:00（日、月曜日除く）

【費用】 無料

【利用状況】 14名程度（被災地へ送るぞうきんづくりボランティア、麻雀を楽しむシニア等）

【懸案事項】

- ・土曜日の居場所利用がほとんどない⇒12月～土日曜日を閉館日、月曜日を開館日へ
※ただし、土日にイベント等で利用する場合には貸し館として貸し出し
- ・水曜日以外夕方～夜の利用がほとんどない⇒12月～開館時間18:30に短縮、18:30以降有料
- ・閉館日の夕方に利用料を支払って利用したいというグループあり
⇒スタッフ不足により全ての時間帯が埋まらず開館できない時間帯が来ている

(4) 学習サポートの状況（「教育支援協会長野」による学習支援）

【開催日】 毎週水曜日放課後 ①4:00～5:00、②5:30～6:30、③7:00～8:00の3コマ

【費用】 月3回3,000円

【利用者】 6名（ほか、お試し参加数名）春休み、年末年始に補習実施

【スタッフ】 講師1名、ボランティアの高校生5名、大学生2名

【懸案事項】 当初水曜日以外を高校生による学習支援を想定⇒小中学生の利用がなく未実施

(5) イベントの状況

9月23日	オープニングイベント（キーマカレー無料提供、親子体験イベント、店内マルシェ）（自主事業）	約80名
10月22日	「Atid 好奇心？考奇心？」（諏訪東京理科大生主催イベント）	7名
11月21日	「介護予防×末広」イベント（革細工教室、麻雀、街歩き等） （創価大西川先生、シニア大学との共催イベント）	24名
12月17日～26日	人格思想展示会 記憶を巡る旅（地元高校生主催イベント）	—
12月28日	歌声喫茶で忘年会（自主事業）	20名
1月11日	親子もちつき大会（自主事業）	25名

2月8日	歌声喫茶（自主事業）	15名
2月17日	末広高齢者×大学生（創価大西川ゼミとの共催イベント）	18名

※月に1回、末広プロジェクト会議（公開定例運営委員会）を開催。平均20～30名参加



5. 課題

(1) 利用者の拡大

- ・ 駐車場がないことから、歩いて来られる地域の住民、学校等への働きかけを強める（回覧板を利用した「お便り」の回覧、地域情報誌の活用など）
- ・ 地元商店との連携を強める（地元商店街の行事参加、手芸、革細工、絵画など地元商店と連携したイベント開催、地元商店も参加するマルシェ開催、地元飲食店と連携した食品の提供など）
- ・ 創価大西川先生から提案いただいた「介護予防×末広」プロジェクトの推進
- ・ 子育て世代を対象としたイベント等を実施する（子ども文化ステーション、ちゃいるどふっどなどと連携し）
- ・ 学習支援、子ども食堂の利用拡大のため、小中学生とその保護者への働きかけを強める（無料季節補習、学校への案内の掲示、地域情報誌の活用など）
- ・ 当初想定していた高校生の活動の場としての利用が少ないことから、あらためて高校生への働きかけを強める（学校への案内の掲示など）

(2) 運営体制の見直し（店長を正規雇用する形は3年後につながらない）

- ・ 店長が退職した機会に、あり方を見直す
- ・ 理事とシニアボランティアのシフトによる常時開店を目指す
- ・ ランチ・喫茶については、飲食店経営を目指す人などに厨房を貸し出し営業してもらうことで飲食の提供をしつつ収入を得ることを目指す（上田の日替わり食堂などを参考に）。
- ・ 土日に参加料収入の見込めるイベントを自主開催し収入を得る
- ・ 定期的なサークル活動などの利用を増やし、貸し館利用料収入を得る

(3) 子ども支援（学習支援、子ども食堂）における諏訪市との連携

- ・ 諏訪市のあゆみステーションと連携し、市の事業の一部を受託するなどして、本当に支援を必要とする子どもや家庭とのかかわりを構築する

(4) 多世代交流の場としての発展

- ・シニア世代の居場所としての可能性は見てきたので、シニア世代がボランティアとして子ども、子育て世代に関わっていく機会を、イベント等を通じて増やしていく
- ・学習支援などを通じて、高校生、大学生が小学生に関わっていく機会を、イベント等を通じて増やしていく

6. 利用者状況

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	開館日数	1	4	3	10	9	22	18	21	21	25
	1日平均	12.0 人	2.0 人	1.7 人	23.0 人	15.1 人	13.0 人	15.7 人	16.0 人	14.6 人	12.0 人
参加者 (人)	未就学児	0	0	0	25	2	0	0	2	1	3
	小学生	0	0	0	25	0	7	14	33	46	53
	中学生	0	0	0	0	6	0	0	5	4	7
	高校生	0	0	0	5	28	3	64	20	24	1
	専門学校・大学生	0	0	0	0	11	0	0	11	15	0
	大人	0	0	0	114	60	239	175	197	121	116
ボラン テイア (人)	小学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校生	0	0	0	5	4	4	3	8	10	29
	専門学校・大学生	0	0	0	0	0	0	0	8	6	1
	大人	0	2	2	7	14	13	2	24	32	41
その 他 (人)	外部講師	0	0	0	1	2	3	4	5	3	1
	その他	12	6	3	48	9	17	21	24	44	48
計		12	8	5	230	136	286	283	337	306	300

「NPO 法人 Hug (ハグ)」 について



1. 基本情報

所在地：下伊那郡松川町上片桐 2165

代表者：篠田 阿依

2. 地域の主な資源

・現在協力を得ている団体

1	竹村工業株式会社（建物・食材の提供）
2	上片桐地区
3	松川高等学校（ボランティア部）
4	松川町民生児童委員協議会
5	まいさぼ飯田
6	松川町保健福祉課
7	松川町社会福祉協議会
8	飯田保健福祉事務所福祉課
9	南信州地域振興局
10	有限会社吉清（食材の提供）
11	農事組合法人美幸（食材の提供）



・今後協力を得たい団体

	団 体 名	協力を得たい内容
1	隣接自治会	施設の利用・ボランティア参加
2	松川町教育委員会	職員との連携・研修会など
3	近隣幼保・小・中学校・飯田女子短期大学	施設の利用・教職員との連携
4	シニア大学（長寿社会開発センター）	施設の利用・ボランティア参加
5	近隣の子育て支援センター	職員への周知、研修会など
6	下伊那こども家庭支援センターこっこ	職員との連携
7	地元商工会議所や企業・農家	資金・物資・食材提供
8	フードバンク信州、ホットライン信州など	物資・食材提供
9	南信州こども応援PF関係団体	施設の利用、イベントの連携

3. 活動内容

- (1) カフェの運営
- (2) こどもカフェ（こども食堂）の運営
- (3) フリースペースの運営
- (4) 宿題サポート・個別学習サポートの運営
- (5) ワークショップ・イベントの実施

4. 活動の現状

(2) カフェ (10月7日～現在まで) 【収益事業】

【営業日時】 11:30～15:30 (木曜・日曜定休日、祝日は営業)

- ・メニューは、日替わりランチやトースト、キッズプレート、ケーキセットなど (金曜日はカレーの日、土曜・祝日は日替わりバイキングを実施している)
- ・新聞や地方紙の掲載により、来客数は次第に増えている。⇒1日平均15食程度
- ・子連れでもゆっくり過ごせるように、授乳コーナーやキッズスペースを広く取っている。
- ・乳幼児連れの親子の利用が多く、子育て支援センターが休館の水曜日に予約が多く入る。
- ・近隣の高齢者の方やお昼休憩のサラリーマンの方の利用も増えている。
- ・スタッフ数…キッチン2名、子連れのパート2名、就労支援を含む有償ボランティア3名

(3) こどもカフェ Hug (こども食堂) (10月9日～現在まで)

【開催日】 毎週水曜日 17:00～20:00

【利用料】 高校生以下：無料、大人：200円

- ・毎回平均80名程度の利用者。多いときは100人を超えることも。
- ・こども食堂事業は3年目になるので周知され、移転に伴って更に利用者が大幅に増えた。
- ・親子連れの利用や、子どもだけで来る小中学生の利用が多い。
- ・頂いた食材を基本に、なるべく材料費をかけないようなバイキング形式の食事提供。
- ・スタッフ数…キッチン2名、有償ボランティア3名、松川高校ボランティア部3～4名
- ・1月より「マイ食器プロジェクト」を実施中。食器やお箸は各自で持ってきてもらい、家庭で洗ってもらうことを呼び掛けている。⇒少しずつ食器を持参する方が増えている。
- ・アンケート「こどもカフェを利用する理由はなんですか？」に対して
30～40代の子育て世代の利用者で多かったのは「子どもを連れてこられる」
10代の利用者で多かったのは「いろんな人と関われる」⇒人との関りを求めている

(3) フリースペース (10月7日～現在まで)

【運営日時】 祝日を除く平日 15:30～20:00 (冬季は19:00まで)

【利用料】 誰でも無料

【運営内容】 学習スペース、図書スペース、駄菓子販売コーナー、給湯スペースを設置。

- ・見守り有償ボランティアとして21名登録。(近隣の高齢者の方が多い)
開放時間内は、見守りスタッフが日替わりで常駐し、安全面など管理している。
- ・中学生の利用が少しずつ増えているが、利用者はまだ少ない。⇒あまり周知されていない
- ・水曜日のこどもカフェの日は、小中学生の利用者が多い。
- ・駄菓子の販売を通して、見守りボランティアの方と子ども達の交流の場になっている。
- ・毎月見守りボランティアのミーティングを実施。来月のシフト決めと情報共有を行う。

(4) 学習サポート (10月7日～現在まで) 【収益事業】

① 小学生対象の「宿題サポート」

【実施日時】 毎週火曜・木曜日 16:30～17:30、毎週水曜日 15:30～16:30

【実施場所・内容】 カフェの座卓スペースで、宿題と個別学習のサポート。

【利用料】 月額5,000円 (事前登録制。利用回数は無制限)

- ・登録者現在10名 (小学校3年生～6年生)。学年ごとのグループで学習に取り組む。
- ・有償ボランティアスタッフ7名登録。
- ・登録児童は1人ずつ、本人、保護者、スタッフとの3者面談を実施。宿題だけでなく、それぞれの得意や苦手に応じた目標を一緒に決定して取り組んでいる。

② 不登校・中学生対象の「個別学習サポート」

【実施日時】 1人（または1組） 1時間（曜日や時間は相談に応じて決定）

【実施場所・内容】 個室の「学習室」で完全個別サポート。中学生は数学、英語がメイン。

【利用料】 1時間 1500円

- ・登録者現在13名。内不登校（中間教室含む）4名、中学生8名、通信高校生1名。
- ・有償ボランティアスタッフ3名登録。※いずれも退職教員。

(5) ワークショップ、イベント

10月5日 プレオープンイベント：約60名参加

11月26日 手芸ワークショップ（ネックウォーマー作り）：8名参加

12月21日 クリスマスバイキング、クリスマスイベント：約80名参加

1月8日 こどもカフェ Hug「餅つき大会」：約50名参加

1月17日 湯浅誠先生講演会（上片桐改善センターにて）：約80名参加

3月7日 「東日本大震災追悼セレモニー」実施予定 ※松川高校との連携イベント

※ワークショップやイベントは月に1回程度実施予定。多くの地域の方との連携を目指す。



5. 課題

① 3年後に向けた、人件費と運営費の確保。

・現在、日本財団さんからの助成及び竹村工業さんからの光熱費や賃借料のご負担を頂き、

収支はほぼ同額。⇒現況では助成がなくなる3年後は運営が厳しい

・現在の収益事業は、カフェの売上と学習支援の月謝のみ。

・特に有償ボランティアの方達の交通費（1回1000円）と、スタッフの人件費をどう確保していくかが課題。

⇒ボランティアの方への交通費の金額については、「必要ない」「高いのでは」など様々な意見があるので、3年後に向けて見直しをしていく。

⇒社協さんなどとの連携でリユース品のバザーを実施。売り上げを交通費にまわす。

⇒カフェでは食堂以外に仕出しの許可も得たので、仕出しや夜の貸し切り予約などを増やし、収益をあげる。

⇒スタッフの増加に伴い、学習サポートの利用者数を増やす。

② 学習サポート、子ども達の幅広い学びの場のへのサポート

- ・不登校や低所得世帯などの子ども達の居場所づくり・学習サポート
- ⇒フリースペースを町の間教室として認可が取れるよう、町との連携をお願いする。
民間だからこそできる子ども達や保護者へのサポートを目指していく。
気になる子ども達の情報を、町や関係機関に相談できる体制を作る。

③ 就労支援やこども食堂の面での助成

- ・18歳以上の就労サポートとして現在3名受け入れている。
(カフェでの接客2名、フリースペースの清掃1名)
- いずれも福祉就労につなぎにくく、人件費などの助成が得られていない。
- ・こども食堂の利用者がかなり多く、地域で必要とされていることを強く感じるが、日本財団の助成終了後の運営費や人件費の確保が難しい。
- ⇒いずれも継続していくために、町や関係機関との連携及びサポートが必要。
こども食堂はなるべく運営費がかからないよう、食材提供や支援者の増加に努める。

④ フリースペースの有効活用

- ・地域の方に広く貸し出し、有効的に使ってもらう。(子ども向けの習い事教室や大人向けのサークル活動など)
- ・高校や小中学校とも連携し、子ども達にとって有効的な活用方法を検討する。
- ・住民の方と一緒に、地区を超えたコミュニティ作りの場やあり方を目指す。

6. 利用者数

移転オープン 10月5日～

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	開館日数	22	21	15	22	12	26	24	23	25	24
	1日平均	8.8人	14.0人	3.7人	3.7人	23.3人	35.3人	39.5人	36.3人	36.3人	15.0人
参加者 (人)	未就学児	8	5	0	5	63	84	105	93	96	0
	小学生	64	152	35	52	46	176	189	134	156	146
	中学生	26	22	17	22	22	107	131	90	107	70
	高校生	14	7	4	4	4	7	15	7	0	12
	専門学校・大学生	6	3	0	2	1	1	0	0	0	0
	大人	29	14	0	0	99	408	363	292	349	8
ボランティア (人)	小学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校生	16	32	0	0	7	28	28	34	33	3
	専門学校・大学生	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
	大人	30	58	0	0	37	106	113	155	147	119
その他 (人)	外部講師	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	30	19	0
計		193	293	56	85	280	918	947	836	908	361